

学びの軌跡

(履修カルテ)

学び続け、成長し続ける教師になるために

宇都宮大学

学部・学科等

学籍番号

氏名

はじめに

本学では「得意分野の創成と強化」ならびに「実践的指導力の育成」によって、専門的力と実践力を兼ね備えた質の高い教員を育成することをめざしています。

4年間を通じた教職に関する学びには、教科および教科教育に関する科目、教職科目、教育実習などの教職課程授業科目と、それ以外の学校現場に関わる実践活動があります。

この冊子は、教職をめざすみなさんが本学に入學してから履修したすべての教職課程授業科目と学校現場に関わる活動についての履歴を記録し、教師になるために必要な資質能力をどれくらい身につけているかを定期的に振り返ること（リフレクション）で、教職をゴールとした成長を主体的にはかっていくプロセスを支援するものです。

教員免許状の取得を希望するみなさんは全員、4年間にわたってこの「学びの軌跡（履修カルテ）」を用いて履修状況を記録し、振り返りを重ね、4年次後期開講の「教職実践演習」に臨むことになっています。教職実践演習は特別な授業科目で、4年間の教職に関する学びの集大成として位置づけられています。教職実践演習では、この冊子とともに教職入門と教育実習で作成したポートフォリオを活用して教職に関する学びと活動を振り返り、さらに学校現場での活動を通して、自らの教師としての力量を最終的に確認することになります。

教職をめざすみなさんは、ぜひこの冊子を活用して、各年次で修得すべき教員免許状取得に必要な単位と履修状況を確認し、振り返りを重ねて、主体的な学び手へと成長していただきたい。

学び続け、成長し続ける教師になるために、この「学びの軌跡（履修カルテ）」を有効に活用されることを願っています。

宇都宮大学教職センター長

「 学 び の 軌 跡 」 の 構 成

1. 学びの軌跡（履修カルテ）の活用法
2. 履修状況シート
3. 必要な資質能力についての自己評価シート（2～4年次）
4. 必要な資質能力についての目標参照シート
5. 正課外活動記録シート
6. 教職課程のまとめレポート

※「1」は「活用法」ファイル（本ファイル）, 「2～5」は「シート」ファイル, 「6」は「まとめ」ファイル。指導教員とは「シート」ファイルをやり取りし、最後に「まとめ」ファイルを提出する。

1. 学びの軌跡（履修カルテ）の活用法

1-1. 「学びの軌跡」の構成要素

（1）履修状況シート：教職課程履修状況確認表

この欄は半期ごとに記入します。各年度の前後期それぞれのはじめに、履修登録した授業科目について必要事項を記入します。そしてその期の「個別成績表」を受け取ったら単位修得状況を記入し、半年間の自らの学びと成長を振り返り、各科目で修得したと考える資質能力の大項目番号①～⑤を選択します。（該当するセルの「1」を選択。）

① 教師教育の理解・教師の使命感等、②子ども理解、③教科等の指導力、④社会性、⑤課題探求

（3）必要な資質能力についての自己評価シート

各学年の終わりから新年度当初に、前期および後期の履修状況シートや履修した授業科目の資料などをふまえながら記載します。この自己評価シートは、履修状況シートの書き方にも示した5つの大項目それぞれに、数個の小項目とより具体的な指標を設定しています。各項目と実際の授業科目との対応関係は、「4. 必要な資質能力についての目標参照シート」をご覧ください。

指標の最後にチェック欄（ ）が設けてあります。各自の履修状況を踏まえながら、その年度に修得したものに（ ○ ）を付けます。そして7つの小項目ごとに、知識や理解、技能やスキル、態度などの形成・定着の程度について自己評価します。自己評価の欄には文章で記入し、最後の到達度は、A～Cを記入します。

【A：十分にできている B：概ねできている（必要最低限のレベルをクリアしている）

C：不十分である（または未履修である）】

（4）正課外活動記録シート

教職課程の学びを深めるにあたって学校支援ボランティア等、様々な課外活動やボランティア活動を経験することは大変有意義です。それらを実施した場合、活動ごとに内容と得られた知見・課題を記入します。「介護等体験」も本シートに記入します。

（5）教職課程のまとめレポート

4年次後期に4年間の大学での学びの総まとめとして「教職実践演習」が開設されています。この授業の受講後に教員就職へ向けて自らの学んだことと、これからの課題を考える「教職課程のまとめレポート」を作成します。

次ページ以降に、学年ごとの記入の方法や注意点について説明しますので、よく読んで教職課程における自らの成長の様子を記録してください。

1-2. 活用スケジュール

※3, 4年次に「教職入門」を受講した人は、実情に合わせて活用してください。
※各項目の作業を終えたら、□にチェックを入れてください。

2年次

【10月上旬】 「教職入門」において「学びの軌跡」の配付・使い方の説明

<履修状況シート>への入力

個別成績表を参照し、履修状況シートの該当する区分に、今までに履修した授業科目の評価までの情報を入力する。授業科目名欄等が空欄のものについては各自で記入する。次いで、自らの学びと成長を振り返り、「身についた資質能力」の大項目の番号を選択する。

<正課外活動記録シート>に該当活動があれば記入する。

【10月中旬】

<履修状況シート>への入力

今期に履修登録した授業科目名、履修年度と担当教員名を入力する。授業科目名欄等が空欄の場合は各自で記入する。

【3月下旬】

<履修状況シート>への入力

個別成績表を受け取ったら、それを見ながら半年間の自らの学びと成長を振り返り、授業科目ごとに、修得単位、評価、「身についた資質能力」の大項目番号を選択する。

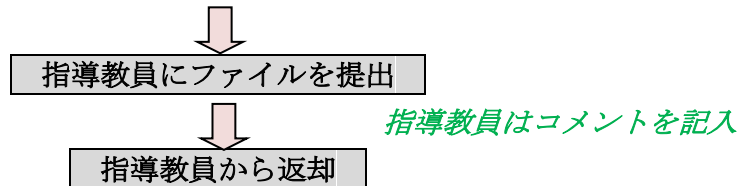
<正課外活動記録シート>に該当活動があれば記入する。

教職入門の「振り返りシート」をファイルする。

3年次

【4月上旬】

- <必要な資質能力についての自己評価シート>の記入，指導教員による確認
1年間の教職課程における学びを振り返り，該当する指標に○を付ける。それらを元に自己評価を記入し，到達度をA～Cで入力する。



【4月下旬】

- <履修状況シート>への入力
今期に履修登録した授業科目名，履修年度と担当教員名を入力する。授業科目名欄等が空欄の場合は各自で記入する。

【5月中旬】

- 「教育実習説明会」において，「学びの軌跡」記載内容の確認を受ける。

【9月下旬】

- <履修状況シート>への入力
個別成績表を受け取ったら，それを見ながら半年間の自らの学びと成長を振り返り，授業科目ごとに，修得単位，評価，「身についた資質能力」の大項目番号を選択する。

【10月中旬】

- <履修状況シート>への入力
今期に履修登録した授業科目名，履修年度と担当教員名を入力する。授業科目名欄等が空欄の場合は各自で記入する。

【2月中旬】

- 「教育実習説明会」において，「学びの軌跡」記載内容の確認を受ける。

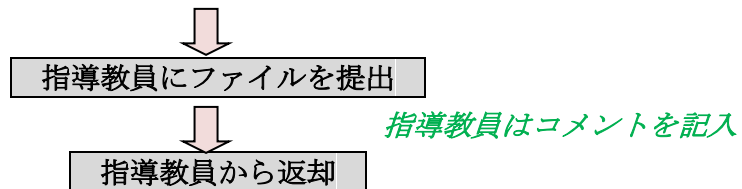
【3月下旬】

- <履修状況シート>への入力
個別成績表を受け取ったら，それを見ながら半年間の自らの学びと成長を振り返り，授業科目ごとに，修得単位，評価，「身についた資質能力」の大項目番号を選択する。
- <正課外活動記録シート>に該当活動があれば記入する。

4年次

【4月中旬 教職実践演習ガイダンス】

- <必要な資質能力についての自己評価シート>の記入，指導教員による確認
1年間の教職課程における学びを振り返り，該当する指標に○を付ける。それらを元に自己評価を記入し，到達度をA～Cで入力する。



- <履修状況シート>への入力
今期に履修登録した授業科目名，履修年度と担当教員名を入力する。授業科目名欄等が空欄の場合は各自で記入する。

【9月下旬】

- 教職実践演習「教職課程の振り返り」
「学びの軌跡」を活用し，現時点での自分の到達度，教師としての課題を明らかにする。

- <履修状況シート>への入力
個別成績表を受け取ったら，それを見ながら半年間の自らの学びと成長を振り返り，授業科目ごとに，修得単位，評価，「身についた資質能力」の大項目番号を選択する。

【10月中旬】

- <履修状況シート>への入力
今期に履修登録した授業科目名，履修年度と担当教員名を入力する。授業科目名欄等が空欄の場合は各自で記入する。

【12月～1月】 教職実践演習振り返り

- <履修状況シート>への入力
単位の取得見通しに基づき，自らの学びと成長を振り返り，授業科目ごとに，修得単位，評価，「身についた資質能力」の大項目番号を選択する。
- <正課外活動記録シート>に該当活動があれば記入する。
- <必要な資質能力についての自己評価シート>の記入
1年間の教職課程における学びを振り返り，該当する指標に○を付ける。それらを元に自己評価を記入し，到達度をA～Cで入力する。

□ <教職課程のまとめレポート>の記入

4年間の教職課程全体を振り返って、学んだこととこれからの課題をまとめ、記入する。

□ 教職実践演習の「目標と振り返りシート」をファイルする。



振り返り終了後、指導教員に「履修状況シート」「成果外活動記録シート」

「教職課程のまとめのレポート」ファイルを提出



指導教員はコメントを記入

卒業までに指導教員から返却

2. 履修状況シート

学籍番号:

氏名:

 選択肢入力。未入力=「0」。

2-1. その他必要な科目(計8単位)

授業科目名	単位	修得単位	履修年度	担当教員名	評価	身についた資質能力(大項目番号)				
						①	②	③	④	⑤
日本国憲法	2									
スポーツと健康	2									
Int. Eng. IA	1									
Adv. Eng. I	1									
データサイエンス入門	2									
小計	8	0				0	0	0	0	0

2-2. 教育の基礎的理解に関する科目(計10単位)

授業科目名	単位	修得単位	履修年度	担当教員名	評価	身についた資質能力(大項目番号)				
						①	②	③	④	⑤
教育原論(中・高)	2									
教職入門(中・高)	2									
教育の制度と経営(中・高) または 教育社会学(中・高)	2									
教育心理学(中・高)	2									
特別支援教育基礎論	1									
教育課程論	1									
小計	10	0				0	0	0	0	0

2-3. 道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目(高等学校8単位)

授業科目名	単位	修得単位	履修年度	担当教員名	評価	身についた資質能力(大項目番号)				
						①	②	③	④	⑤
総合的な学習の時間の指導法	1									
特別活動論(中・高)	1									
教育の方法・技術(中・高)	1									
ICTを活用した教育の理論と実践	1									
生徒指導(中・高)	1									
教育相談(中・高)	2									
進路指導(中・高)	1									
小計	8	0				0	0	0	0	0

2-4. 教育実践に関する科目(高等学校5単位)

授業科目名	単位	修得単位	履修年度	担当教員名	評価	身についた資質能力(大項目番号)				
事前・事後指導	1									
高等学校教育実習	2									
教職実践演習	2									
小計	7/5	0				0	0	0	0	0

2-5. 教科の指導法に関する科目(高等学校4単位)

授業科目名	単位	修得単位	履修年度	担当教員名	評価	身についた資質能力(大項目番号)				
小計	8/4	0				0	0	0	0	0

2-6. 教科に関する専門的事項(計20単位)

授業科目名	単位	修得単位	履修年度	担当教員名	評価	身についた資質能力(大項目番号)				
小計		0				0	0	0	0	0

2-7. 大学が独自に設定する科目(高等学校12単位)

授業科目名	単位	修得単位	履修年度	担当教員名	評価	身についた資質能力(大項目番号)				
小計		0				0	0	0	0	0

3. 必要な資質能力についての自己評価シート 2年次終了時(20 年度)

学籍番号

氏名

1. 必要な資質能力についての自己評価

大項目	小項目	指 標	自己評価	到達度
① 学校教育の理解・教師の使命感等	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。()		
	教育の理念・教育史・思想の理解 学校教育の社会的・制度的・経営的理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。() 学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。()		
② こども理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達のメカニズムと特性についての知識を習得していますか。()		
	学習集団の形成の理解 子どもの状況に応じた対応の理解	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。() いじめ、不登校、特別支援教育、心の支援等について、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。()		
③ 教科等の指導力	基礎知識・技能	各教科	これまで履修した各教科の教科内容について理解していますか。()	
		教科書・学習指導要領	教科書や免許状取得予定の校種の学習指導要領の内容を理解していますか。()	
		教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。()	
		道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。()	
		総合的な学習の時間等 情報機器の活用	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。() 情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。()	
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。()		
	実践力	教材分析力	教材を分析することができますか。()	
		授業構成力	教材研究を生かした授業を構想し、子どもの応答を予想した指導案としてまとめることができますか。()	
		教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じて、創意・工夫した教材・資料を開発・作成することができますか。()	
		授業展開力	子どもの応答を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。()	
板書・表現技術		板書や発問、的確な話し方・受け止め方など授業を行う上での基本的な技術を身に付けていますか。()		
学級経営力	学級経営案を作成することができますか。()			

④ 社会性	他者との協力	<p>他者意見の受容 自らの意見を自覚して、他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。()</p> <p>他者との連携・協力 集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。()</p> <p>役割遂行 集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんと担うことができますか。()</p> <p>保護者・地域との連携・協力 保護者や地域との連携・協力の重要性を理解し、相互交渉的連携関係を結ぶことができますか。()</p> <p>協働授業実施 同僚・保護者・地域の専門家など、他者と協働して授業を企画・運営・展開することができますか。()</p>		
	コミュニケーション	<p>発達段階に応じたコミュニケーション 子どもたちの発達段階と特性を考慮して、適切に接することができますか。()</p> <p>子どもに対する態度 気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、共感的態度で接することができますか。()</p> <p>公平・受容的態度 子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。()</p> <p>社会人としての基本 挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。()</p>		
⑤ 課題探求	<p>課題認識と探求心 自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。()</p> <p>教育時事問題 いじめ、不登校、特別支援教育、心の支援などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。()</p> <p>合意形成と討議能力 対話・討議を通して、合意を形成することができますか。()</p>			

2. 教職を目指す上で課題と考えている事項(必要な資質能力)

3. 指導教員のコメント(教員名:)

3. 必要な資質能力についての自己評価シート 3年次終了時(20 年度)

学籍番号

氏名

1. 必要な資質能力についての自己評価

大項目	小項目	指 標	自己評価	到達度	
① 学校教育の理解・教師の使命感等	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。()			
	教育の理念・教育史・思想の理解 学校教育の社会的・制度的・経営的理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。() 学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。()			
② こども理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達のメカニズムと特性についての知識を習得していますか。()			
	学習集団の形成の理解 子どもの状況に応じた対応の理解	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。() いじめ、不登校、特別支援教育、心の支援等について、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。()			
③ 教科等の指導力	各教科	これまで履修した各教科の教科内容について理解していますか。()			
	基礎知識・技能	教科書・学習指導要領	教科書や免許状取得予定の校種の学習指導要領の内容を理解していますか。()		
		教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。()		
		道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。()		
		総合的な学習の時間等 情報機器の活用	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。() 情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。()		
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。()			
	実践力	教材分析力	教材を分析することができますか。()		
		授業構成力	教材研究を生かした授業を構想し、子どもの応答を予想した指導案としてまとめることができますか。()		
		教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じて、創意・工夫した教材・資料を開発・作成することができますか。()		
		授業展開力	子どもの応答を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。()		
板書・表現技術		板書や発問、的確な話し方・受け止め方など授業を行う上での基本的な技術を身に付けていますか。()			
学級経営力		学級経営案を作成することができますか。()			

④ 社会性	他者との協力	<p>他者意見の受容 自らの意見を自覚して、他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。()</p> <p>他者との連携・協力 集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。()</p> <p>役割遂行 集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんと担うことができますか。()</p> <p>保護者・地域との連携・協力 保護者や地域との連携・協力の重要性を理解し、相互交渉的連携関係を結ぶことができますか。()</p> <p>協働授業実施 同僚・保護者・地域の専門家など、他者と協働して授業を企画・運営・展開することができますか。()</p>		
	コミュニケーション	<p>発達段階に応じたコミュニケーション 子どもたちの発達段階と特性を考慮して、適切に接することができますか。()</p> <p>子どもに対する態度 気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、共感的態度で接することができますか。()</p> <p>公平・受容的態度 子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。()</p> <p>社会人としての基本 挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。()</p>		
⑤ 課題探求	<p>課題認識と探求心 自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。()</p> <p>教育時事問題 いじめ、不登校、特別支援教育、心の支援などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。()</p> <p>合意形成と討議能力 対話・討議を通して、合意を形成することができますか。()</p>			

2. 教職を目指す上で課題と考えている事項(必要な資質能力)

3. 指導教員のコメント(教員名:)

3. 必要な資質能力についての自己評価シート 4年次終了時(20 年度)

学籍番号

氏名

1. 必要な資質能力についての自己評価

大項目	小項目	指 標	自己評価	到達度
① 学校教育の理 解・教師の使 命感等	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。()		
	教育の理念・教育史・思想の理解 学校教育の社会的・制度的・経営的理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。() 学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。()		
② こども理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達のメカニズムと特性についての知識を習得していますか。()		
	学習集団の形成の理解 子どもの状況に応じた対応の理解	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。() いじめ、不登校、特別支援教育、心の支援等について、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。()		
③ 教科等の 指導力	各教科	これまで履修した各教科の教科内容について理解していますか。()		
	教科書・学習指導要領	教科書や免許状取得予定の校種の学習指導要領の内容を理解していますか。()		
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。()		
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。()		
	総合的な学習の時間等	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。()		
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。()		
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。()		
	教材分析力	教材を分析することができますか。()		
	授業構成力	教材研究を生かした授業を構想し、子どもの応答を予想した指導案としてまとめることができますか。()		
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じて、創意・工夫した教材・資料を開発・作成することができますか。()		
授業展開力	子どもの応答を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。()			
板書・表現技術	板書や発問、的確な話し方・受け止め方など授業を行う上での基本的な技術を身に付けていますか。()			
学級経営力	学級経営案を作成することができますか。()			

④ 社会性	他者との協力	<p>他者意見の受容 自らの意見を自覚して、他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。()</p> <p>他者との連携・協力 集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。()</p> <p>役割遂行 集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんと担うことができますか。()</p> <p>保護者・地域との連携・協力 保護者や地域との連携・協力の重要性を理解し、相互交渉的連携関係を結ぶことができますか。()</p> <p>協働授業実施 同僚・保護者・地域の専門家など、他者と協働して授業を企画・運営・展開することができますか。()</p>		
	コミュニケーション	<p>発達段階に応じたコミュニケーション 子どもたちの発達段階と特性を考慮して、適切に接することができますか。()</p> <p>子どもに対する態度 気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、共感的態度で接することができますか。()</p> <p>公平・受容的態度 子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。()</p> <p>社会人としての基本 挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。()</p>		
⑤ 課題探求	<p>課題認識と探求心 自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。()</p> <p>教育時事問題 いじめ、不登校、特別支援教育、心の支援などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。()</p> <p>合意形成と討議能力 対話・討議を通して、合意を形成することができますか。()</p>			

2. 教職を目指す上で課題と考えている事項(必要な資質能力)

3. 指導教員のコメント(教員名:)

